

暗渠排水資材の特徴

ミライ企画株式会社

管種	概要	利点	欠点
硬質塩ビ管	長さ 2.5m、4m、口径45mm以上各種肉厚1~2mm。	被覆材の選択によって土性適用が広い。軽量で扱いやすい。	低温及び衝撃に弱い スリラーによる目詰まりが早い。
ポリエチレンパイプ	長さ4m、口径50mm以上各種。肉厚2.0mm以上。吸水口の面積15cm ² /m以上均等分布。	被覆材の選択によって土性適用が広い。軽量で扱いやすい。低温に弱い。	比較的耐圧強度が小さい スリラーによる目詰まりが早い。
塩ビコルゲート管	長尺200m位まで、吸水口はコルゲート凹部円周上	硬質、フレキシブル、各種土壤に適し堀削同時埋設や引き込み埋設も可。	低温及び衝撃に弱い スリラーによる目詰まりが早い。
ポリエチレンネットパイプ	パイプの円周をネット状円筒としたもの4m及び長尺100m	吸水断面が大きい。低温に強い。	土性の適用範囲が少ない スリラーによる目詰まりが早い。
コンクリート管	有孔ヒューム管など大口径は湧水処理に適す。	耐圧力大。	重量大。施工やや困難 遠距離に不向き。
陶管	JISによる規格陶管または、これに準ずる素焼き管。	適用できる土性の範囲が広い。耐用年数が長く半永久的に使用が可能である	施工やや困難。 自然通水なので目詰まりしない。
ポリエチレンコルゲート管	長尺100mくらいまで吸水孔はコルゲート凹部円周上	ポリエチレンパイプに比べて耐圧強度が高い。低温に強い。堀削同時埋設が可能、フレキシブル	粗度係数やや劣る スリラーによる目詰まりが早い。